

退院処方箋の病棟送付に関する電話連絡について

服用開始日が当日の退院処方箋は、入院患者の内服・外用薬処方箋のうち、最も優先的に調剤され、迅速に病棟に送付するよう努めています。薬剤の至急送付に関する電話連絡への対応により、調剤業務が遅延しますのでご配慮頂きますようお願い致します。なお、服用開始前日の13:00までにオーダーされた退院処方箋は、前日中に病棟に送付することとしておりますので、ご利用ください。

禁忌改訂のお知らせ

◎オランザピン錠 2.5mg、5mg「EE」(一般名:オランザピン) <抗精神病薬・双極性障害治療薬・制吐剤>

【禁忌】 アドレナリンを投与中の患者 (アドレナリンをアナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く)

【併用禁忌】 アドレナリン (アナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く)

※下線部を追加

◎ボスミン外用液 0.1%(一般名:アドレナリン)

【禁忌】 次の薬剤を投与中の患者

イソプレナリン塩酸塩等のカテコールアミン製剤、アドレナリン作動薬(ただし、緊急時はこの限りでない。)

【併用禁忌】 抗精神病薬 (ブチロフェノン系薬剤、フェノチアジン系薬剤、イミノジベンジル系薬剤(クレミン等)、ゾテピン(ロドピン)、セロトニン・ドパミン拮抗薬(リスパダール等)、多元受容体標的化抗精神病薬(セロクエル等)、ドパミン受容体部分作動薬(エビリファイ))、 α 遮断薬

イソプレナリン塩酸塩等のカテコールアミン製剤、アドレナリン作動薬 (プロタノール等)

※下線部を追加

投与期間制限解除のお知らせ

◎インチュニブ錠 1mg、3mg(一般名:グアンファシン塩酸塩) <注意欠陥/多動性障害治療剤(選択的 α_A アドレナリン受容体作動薬)>

◎スインプロイク錠 0.2mg(一般名:ナルデメジントシル酸塩) <経口末梢性 μ オピオイド受容体拮抗薬>

◎ニンラーロカプセル 3mg、4mg(一般名:イキサゾミブクエン酸エステル) <抗悪性腫瘍剤(プロテアソーム阻害剤)>

※緊急購入薬

薬価収載後1年が経過するため、2018年6月1日から投薬制限が解除され長期投与可能となります。

長期臨床実習が始まりました

5/7から7/20まで、薬学部5年生を対象とした長期臨床実習(女性5名)を行っています。

薬物治療の有効性と安全性向上に貢献できる薬剤師を目指して、知識と技能の取得に精力的に取り組んでいます。病棟業務・服薬指導等で病棟を訪れた際にはよろしくお願ひします。

効能・効果追加のお知らせ

◎オランザピン錠5mg、10mg「EE」(一般名:オランザピン)＜抗精神病薬・双極性障害治療薬・制吐剤＞

【効能・効果】抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）

【用法・用量】他の制吐剤との併用において、成人にはオランザピンとして5mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態により適宜増減するが、1日量は10mgを超えないこと。


◎サーティカン錠 0.25mg、0.75mg(一般名:エベロリムス)＜免疫抑制剤(mTOR 阻害剤)＞※緊急購入薬

【効能・効果】臓器移植における拒絶反応の抑制（肝移植）

【用法・用量】成人にはエベロリムスとして2.0mgを、1日2回に分けて経口投与する。患者の状態やトラフ濃度によって適宜増減する。原則、エベロリムスの投与開始は移植後4週以降とする。

販売名類似のお知らせ

『一硝酸イソソルビド錠 20mg「サワイ」(※常備薬)』『硝酸イソソルビド徐放錠 20mg「サワイ」(※当院採用薬はニトロール R カプセル 20mg)』の販売名が類似しています。両製剤ともイソソルビドを基本骨格とする硝酸エステル系薬剤ですが、それぞれ異なる有効成分・適応症を有する製剤でありますので、ご注意ください。

製品名	いち 一硝酸イソソルビド錠 20mg「サワイ」	硝酸イソソルビド徐放錠 20mg「サワイ」
一般名	一硝酸イソソルビド	硝酸イソソルビド
効能・効果	狭心症	狭心症、心筋梗塞(急性期を除く)、その他の虚血性心疾患
製品写真		
当院採用薬	いち 一硝酸イソソルビド錠 20mg「サワイ」	ニトロール R カプセル 20mg

包装変更のお知らせ

◎イロクテイト静注用 750(一般名:エフラクトコグ アルファ(遺伝子組換え))＜遺伝子組換え血液凝固第 VIII 因子 Fc 領域融合タンパク質製剤＞※緊急購入薬

◎オルプロリクス静注用 3000(一般名:エフトレノナコグ アルファ(遺伝子組換え))＜遺伝子組換え血液凝固第 IX 因子 Fc 領域融合タンパク質製剤＞※緊急購入薬

輸注セットのセーフタッチ PSV (翼付針) の包装デザイン及びサイズ、製品針キャップの材質の変更

◎エスタゾラム錠 2mg「アメル」(一般名:エスタゾラム)＜睡眠剤＞

PTP シートのサイズ・デザインの変更

◎エンブレル皮下注 50mg ペン 1.0mL(一般名:エタネルセプト(遺伝子組換え))＜完全ヒト型可溶性 TNF α /LT α レセプター製剤＞

2キット入りから1キット入りへ変更、患者向けの説明文のデザインの変更

◎ヘプタボックス-II(一般名:組換え HBs 抗原たん白質 (酵母由来))＜ウイルスワクチン類＞

バイアルラベルの含量(容量)の表示変更

従来品: 10 μ g (0.5mL) → 変更品: 0.5mL (10 μ g)

◎リボスチン点鼻液 0.025mg112 噴霧用(一般名:レボカバステン塩酸塩)＜局所用選択 H1 ブロッカー＞

ラベルデザインの変更、患者向け説明書に社名デザイン追加

緊急購入薬のオーダー開始のお知らせ

< 患者限定医薬品 >

オーダー開始日	緊急購入薬
2018. 4. 24	☆レクチゾール錠25mg
	☆ナディック錠30mg
	☆ワゴスチグミン散5mg/g
	☆ベセルナクリーム5%
	☆プロメライン軟膏20g
	☆5FU軟膏5%協和 20g
	☆アセチルピラマイシン錠 200mg
	☆アドベイト注射用 500U
	☆エラブレース点滴 6mg, 3mL
	☆クロラムフェニコール点眼0.5%「ニット」5mL
	☆コージネイトFS 1000U
	☆コンファクトF 500U
	☆シオマリン静注用 1g
	☆タルセバ錠 100mg
	☆ツムきゅう帰膠艾湯エキス顆粒 3g
	☆ツム柴胡清肝湯エキス顆粒2.5g/包
	☆ツム小柴胡湯加桔梗石膏エキス顆粒
	☆テリパラチド静注用 100U
	☆トブラシン点眼液0.3%, 5mL
	☆ペラゾリン細粒 800mg/包
☆ペラニンデポー筋注 10mg	
☆ボセルモンデポー筋注 1mL	
☆ロイコン錠 10mg	
2018. 4. 26	☆アデムパス錠0.5mg、1.0mg、2.5mg
	☆ウプトラビ錠0.2mg、0.4mg
	☆スタレボ配合錠L50
	☆ゼルヤンツ錠5mg
	☆レンビマカプセル4mg、10mg
	☆ギリアデル脳内留置用剤7.7mg
	☆レクタブル2mg注腸フォーム14回
	☆アディノベイト静注用1000、2000
	☆アラセナ-A点滴静注用300mg
	☆エムプリシティ点滴静注用300mg、400mg
	☆キイトルーダ点滴静注20mg
	☆サビーン点滴静注用500mg
	☆ダラザレックス点滴静注100mg、400mg
	☆ナーブブロック筋注2500単位
	☆ベンリスタ点滴静注用120mg、400mg
	☆ヨンデリス点滴静注用0.25mg、1mg
	☆ラスリテック点滴静注用1.5mg、7.5mg
	☆アラバ錠20mg
	☆イムブルビカカプセル140mg
	☆カイプロリス点滴静注用10mg、40mg
2018. 4. 28	☆クロザリル錠25mg、100mg

< 診療科限定医薬品 >

オーダー開始日	緊急購入薬	対象診療科
2018. 4. 16	★エスポー750U	産婦人科

「サムチレール内用懸濁液15%」段階的製品回収・交換のお知らせ

◎サムチレール内用懸濁液 15%(一般名:アトバコン)〈ニューモシスチス肺炎治療薬〉

一部のロットにおいて、製剤の規格として設定している粒度が、製造日より15ヶ月までは規格内でしたが、18ヶ月の時点で承認規格から逸脱していることが判明しました。(使用期限:2年)

原因調査の結果、添加物であるキサントガムのpHが製剤の粒度に影響を及ぼしていることが推測されました。本件による薬剤自体の有効性への影響は極めて少なく、安全性においても健康被害が発生する恐れはないと考えられております。現在までに健康被害の報告はありません。

当院の在庫におきまして、該当ロット番号の薬剤はありません。

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 352

★相互接続防止コネクタに係る国際規格(ISO(IEC) 80369 シリーズ)の導入についてー神経麻酔分野の小口径コネクタ製品の切替えについてー

近年、国際標準化機構(ISO)と国際電気標準会議(IEC)において、製品分野間の相互接続を防止するコネクタに係る国際規格の制定が進められており、我が国においても、医療事故防止対策の更なる推進や、国際的な整合による製品の安定供給を確保するため、国際規格の導入を進めています。今後、神経麻酔分野の小口径コネクタ製品について国内での最初の国際規格導入が予定されておりますので、その概要について紹介します。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂(追加)したので内容を紹介します。

◎トルバプタン(商品名:サムスカ錠7.5mg) 〈利尿剤〉

【重大な副作用】急性肝不全、肝機能障害:AST(GOT),ALT(GPT), γ -GTP,Al-P,ビリルビン等の上昇を伴う肝機能障害があらわれ、急性肝不全に至ることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。また、肝機能障害が回復するまでは頻回に血液検査を実施するなど観察を十分に行うこと。

※急性肝不全関連症例:4例(うち死亡3例)(平成26年4月~平成30年1月)

◎アナグリプチン(商品名:スイニー錠100mg) 〈糖尿病用剤〉

◎リナグリプチン(商品名:トラゼンタ錠5mg) 〈糖尿病用剤〉

◎テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物(商品名:テネリア錠20mg) 〈糖尿病用剤〉

【重大な基本的注意】急性膵炎があらわれることがあるので、持続的な激しい腹痛、嘔吐等の初期症状があらわれた場合には、速やかに医師の診察を受けるよう患者に指導すること。

【重大な副作用】急性膵炎:急性膵炎があらわれることがあるので、観察を十分に行い、持続的な激しい腹痛、嘔吐等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

※急性膵炎関連症例:①アナグリプチン:2例(うち死亡0例)(平成26年4月~平成29年12月)

②リナグリプチン:5例(うち死亡0例)(平成26年4月~平成29年12月)

③テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物:4例(うち死亡0例)(平成26年4月~平成29年12月)

◎アナグリプチン(商品名:スイニー錠100mg) 〈糖尿病用剤〉

【重大な副作用】類天疱瘡:類天疱瘡があらわれることがあるので、水疱、びらん等があらわれた場合には、皮膚科医と相談し、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

※類天疱瘡関連症例:1例(うち死亡0例)(平成26年4月~平成29年12月)

◎滅菌調整タルク(商品名:ユニタルク胸膜腔内注入用懸濁剤4g) 〈その他の腫瘍用薬〉

【重大な副作用】ショック,アナフィラキシー:ショック,アナフィラキシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

※ショック・アナフィラキシー関連症例:3例(うち死亡0例)(平成26年4月~平成30年1月)

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>)又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)から確認可能。

在宅自己注射に対する保険適用のお知らせ

以下の薬剤が「在宅自己注射指導管理料」の算定が可能となりました。これに伴い、退院・外来処方オーダが可能になりました。

◎シンポニー皮下注 50mg シリンジ(一般名:ゴリムマブ(遺伝子組換え))<ヒト型抗ヒト TNF α モノクローナル抗体製剤>

イオパミロン注300 20mL オーダ再開のお知らせ

◎イオパミロン注 300 20mL(一般名:イオパミドール)<非イオン性尿路・血管造影剤>

非イオン性尿路・血管造影剤「イオパミロン注 300 20mL」において、製造ライン不具合による供給一時中断のためオーダを停止していましたが、このたび、供給が再開されることとなりました。

これに伴い、平成 30 年 5 月 11 日よりオーダを再開しました。

オーダ中止のお知らせ

オーダ中止日	薬剤名	理由
2018. 4. 23	エルカルチン FF 内用液 10%10mL	エルカルチン FF 内用液 10%分包 10mL 採用のため
	ヴィキラックス配合錠	マヴィレット配合錠採用のため
	ナブネックス点鼻液 56 噴霧用	ルパフィン錠 10mg 採用のため
	ヘプセラ錠 10mg	ベムリディ錠 25mg 採用のため
	ジブレキサ錠 5mg	オランザピン錠 5 mg 「EE」に変更のため
	ジブレキサ錠 10mg	オランザピン錠 10 mg 「EE」に変更のため
2018. 5. 2	オキシコンチン錠 10mg	オキシコンチン TR 錠 10mg 採用のため
2018. 5. 7	アスパラ K 10mEq/10mL	アスパラギン酸カリウム注 10mEq/10mL 採用のため

☆Drug Safety Update No. 269 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名(薬品名)	主な改訂内容
プロポフォル(デイプリバン注キット、1%プロポフォル注「マルシ」)	※禁忌(削除): 妊産婦 ※妊婦、産婦、授乳婦等への投与: …妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。(本剤は胎児へ移行するため、新生児の呼吸抑制等があらわれることがある。)
マキガリプチン(マレゾ錠) サキガリプチン水和物(オングリザ錠) トラカリプチンコハク酸塩(サプアテック錠)	※重大な副作用: 類天疱瘡 …類天疱瘡があらわれることがあるので、水疱、びらん等があらわれた場合には、皮膚科医と相談し、投与を中止するなど適切な処置。
クトリビン(ロイタチン注)	※重大な副作用: 進行性多巣性白質脳症(PML) …進行性多巣性白質脳症(PML)があらわれることがあるので、本剤の治療期間中及び治療終了後は患者の状態を十分に観察し、意識障害、認知障害、麻痺症状(片麻痺、四肢麻痺)、言語障害、視覚障害等の症状があらわれた場合は、MRIによる画像診断及び脳脊髄液検査を行うとともに、投与を中止し、適切な処置。

成分名（薬品名）	主な改訂内容
アセピンマレイン酸塩（シグレスト舌下錠） アリピプラゾール（エビリファイ錠） アリピプラゾール水和物（エビリファイ持続性水懸筋注用） オランザピン（オランザピン錠「EE」、ジプレキサ筋注用） ケチアピソフマル酸塩（ケチアピン錠「明治」） クロザピン（クロザリル錠）※緊急購入薬 クロルプロマジン塩酸塩（コントミン糖衣錠・筋注） クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩（ウイタミン細粒） ゾテピン（ロソゾピロン錠・細粒） パリペリトソン（インヴェクタ錠） パリペリトソンハルチン酸エステル（セプロリオン水懸筋注シリンジ） ハロペリドール（セレネース細粒） ハロペリドールテカン酸エステル（ハロマンズ注） フルフェナジンマレイン酸塩（フルメジン糖衣錠） プロクロルヘラジンマレイン酸塩（ハミン錠） プロペリアジン（ニューレプチル錠） プロムペリドール（プロムペリドール錠「サライ」） 塩酸ペルフェナジン（ピセツトシ筋注） ペルフェナジンマレイン酸塩（ピセツトシ糖衣錠） ペロスピロン塩酸塩水和物（ルーラン錠） リスペリドン（リスパダール細粒、リスペリドン錠・内用液「MEEK」、リスパダールコンスタ筋注用） レボメプロマジンマレイン酸塩（ヒルナミン錠、レボトミン錠・散） プロナセリン（ロナセン錠）	※禁忌：アトレナリンを投与中の患者（アトレナリンをアナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く） ※併用禁忌：アトレナリン（アナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く）
アトレナリン（アトレナリン注シリンジ「テルモ」、ホスミン注）	※禁忌：次の薬剤を投与中の患者 プロクロフェノン系・フェチアジン系等の抗精神病薬、 α 遮断薬（ただし、アナフィラキシーショックの救急治療時はこの限りでない。） ※併用禁忌：抗精神病薬（プロクロフェノン系薬剤、フェチアジン系薬剤、イミゾベンジル系薬剤、ゾテピン、リスペリドン）、 α 遮断薬〔臨床症状・措置方法：本剤の昇圧作用の反転により、低血圧があらわれることがある。アナフィラキシーショックの救急治療時以外には併用しない。〕
ヘムプロリスマブ（遺伝子組換え）（キイトルーダ点滴静注）	※重要な基本的注意： AST（GOT）、ALT（GPT）、 γ -GTP、Al-P、ビリルビン等の上昇を伴う肝機能障害、硬化性胆管炎があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査を行い、患者の状態を十分に観察。 ※重大な副作用：肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎 …AST（GOT）、ALT（GPT）、 γ -GTP、Al-P、ビリルビン等の上昇を伴う肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、本剤の投与中止等の適切な処置。
トスロキサントシル酸塩水和物（経口剤）（オゼックス細粒小児用）	※重大な副作用：急性腎障害、間質性腎炎、腎性尿崩症 …急性腎障害、間質性腎炎、腎性尿崩症等の重篤な腎障害があらわれることがあるので、定期的に検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置。
アトレナリン（エピペン注射液） ※緊急購入薬	※禁忌（削除）：次の薬剤を投与中の患者（プロクロフェノン系・フェチアジン系等の抗精神病薬、 α 遮断薬） ※併用禁忌（削除）：抗精神病薬（プロクロフェノン系薬剤、フェチアジン系薬剤、イミゾベンジル系薬剤、ゾテピン、リスペリドン）、 α 遮断薬 ※併用注意（追記）：抗精神病薬（プロクロフェノン系薬剤、フェチアジン系薬剤、イミゾベンジル系薬剤、ゾテピン、リスペリドン）、 α 遮断薬

※DSUについて：最重要、重要な情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ（<http://www.pmda.go.jp/>）で確認可能